



付 注

付注1 順序プロビット・モデルによる分析について

1. 分析の概要

経済主体に関するある特定の量（被説明変数）に影響を与える諸要因（説明変数）を分析する場合、通常、回帰分析では、被説明変数が連続的な値をとることを前提に最小2乗法によって各説明変数の係数等が推計される。しかしながら、被説明変数が離散的な値をとる場合、通常、最小2乗法による推計を行うことができない。第2章では、(独)労働政策研究・研修機構「従業員の意識と人材マネジメントの課題に関する調査（従業員調査）」の結果を用い、被説明変数がある値をとる確率を関数を用いて表現した計量モデル（順序プロビット・モデル）によって推計している。

被説明変数が説明変数（独立変数）の線形結合で表されるモデルを線型モデルといい、被説明変数 Y 、説明変数 $x = x(x_1, x_2, \dots, x_n)$ を用いて、次のように表される。

$$Y = b \cdot x + \varepsilon \quad (b: \text{係数ベクトル}, \varepsilon: \text{誤差項})$$

線型モデルは、多くの場合に当てはめることが可能であるが、 Y のとる値の範囲が限られている場合には、当てはめることは適切ではない。このため、本分析では、線型モデルを拡張した一般化線型モデルを用いる。

一般化線型モデルでは、被説明変数が2値をとる単純なモデルの場合、 $Y = I$ となる確率 $P(Y = I)$ が関数 F を用いて、

$$P(Y = I) = F(Z) = F(a + b \cdot x) \quad (b: \text{係数ベクトル}, \varepsilon: \text{誤差項})$$

のように表現される。

このモデルは、被説明変数が2値をとる場合のものであるが、本分析の被説明変数である仕事に対する意欲の変化は、数段階で評価された値をとるものであり、

$$Y = \begin{cases} 0 & (\text{「低くなっている」と回答した場合}) \\ 1 & (\text{「どちらかといえば低くなっている」と回答した場合}) \\ 2 & (\text{「変わらない」と回答した場合}) \\ 3 & (\text{「どちらかといえば高まっている」と回答した場合}) \\ 4 & (\text{「高まっている」と回答した場合}) \end{cases}$$

のように順序づけられている。ここでは、被説明変数に序列がある順序選択モデルの考え方を適用する。順序選択モデルでは、連続的な潜在変数 Y^* が説明変数 $x = x(x_1, x_2, \dots, x_n)$ を用いて、

$$Y^* = b \cdot x + \varepsilon \quad (b: \text{係数ベクトル}, \varepsilon: \text{誤差項})$$

と表されるものと仮定する。被説明変数と潜在変数の関係は、閾値メカニズムによって、

$$Y = j \Leftrightarrow k_j < Y^* \leq k_{j+1} \Leftrightarrow k_j - b \cdot x < \varepsilon \leq k_{j+1} - b \cdot x \quad (j = 0, 1, 2, 3 : k_0 = -\infty, k_4 = \infty)$$

のように対応づけられるものとし、このような関係を満たす閾値と係数ベクトルを最小2乗推計によって決定する。

これらの推計にあたって一般化線型モデルが用いられることとなるが、このとき、 $Y = j$ となる確率 $P(Y = j)$ は

$$P(Y = j) = F(k_{j+1} - b \cdot x) - F(k_j - b \cdot x)$$

のように表現される。なお、順序プロビット・モデルでは、 F は標準正規分布の累積密度関数

$$F(Z) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} \cdot \int_{-\infty}^Z \exp\left(-\frac{t^2}{2}\right) dx$$

を用いる。

順序プロビット・モデルでは、各説明変数の係数 b_i の大きさそのものには意味はないものの、ここでは便宜的に、係数の大きさで各説明変数の説明力の強さを評価している。

2. 各変数

(1) 説明変数

仕事に対する意欲の変化（5段階）

(2) 被説明変数

（基本属性）

- ・ 性
- ・ 年齢階級
- ・ 最終学歴
- ・ 配偶者の有無
- ・ 主収入者かどうか
- ・ 勤続年数
- ・ 雇用形態
- ・ 職種
- ・ 役職
- ・ 年収見込額
- ・ 週労働時間
- ・ 有給休暇取得日数

(その他の属性)

- ・拡大するのが望ましい賃金要素（職務給的要素、職能給的要素、業績・成果給的要素等）
- ・希望する職業生活（転職・開業志向、管理職志向、専門職志向等）
- ・今の職場で実現できていること（希望を重視した配置、社内FA制度等）

3. 分析結果

以下の表の通り。

表1 就業意欲を高める確率（説明変数：各種属性・拡大するのが望ましい賃金要素）

	係数	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
しきい値							
0	-3.144	0.172	332.555	1	0.000***	-3.482	-2.806
1	-1.302	0.166	61.291	1	0.000***	-1.628	-0.976
2	0.324	0.166	3.839	1	0.050*	0.000	0.649
3	1.938	0.169	131.612	1	0.000***	1.606	2.269
性							
女性 = 1	-0.096	0.067	2.016	1	0.156	-0.228	0.036
年齢（20～29歳を基準）							
20歳未満	-0.632	0.531	1.416	1	0.234	-1.673	0.409
30～39歳	-0.140	0.076	3.401	1	0.065*	-0.289	0.009
40～49歳	-0.428	0.090	22.567	1	0.000***	-0.605	-0.251
50～59歳	-0.638	0.103	38.663	1	0.000***	-0.839	-0.437
60歳以上	-0.812	0.193	17.701	1	0.000***	-1.190	-0.434
最終学歴（高校を基準）							
中学	0.199	0.208	0.916	1	0.338	-0.208	0.605
専修学校・各種学校	-0.198	0.084	5.571	1	0.018**	-0.363	-0.034
高専・短大	0.080	0.085	0.880	1	0.348	-0.087	0.246
大学・大学院	0.009	0.058	0.027	1	0.870	-0.104	0.123
配偶者の有無							
有配偶 = 1	0.208	0.059	12.511	1	0.000***	0.093	0.324
主収入者かどうか							
主収入者 = 1	0.036	0.054	0.441	1	0.507	-0.070	0.142
勤続年数（1～5年を基準）							
1年未満	0.540	0.119	20.607	1	0.000***	0.307	0.774
5～10年	-0.103	0.071	2.105	1	0.147	-0.241	0.036
10～15年	-0.133	0.082	2.602	1	0.107	-0.294	0.029
15～20年	-0.296	0.087	11.511	1	0.001***	-0.466	-0.125
20年以上	-0.308	0.087	12.478	1	0.000***	-0.480	-0.137
雇用形態							
正規従業員以外 = 1	0.181	0.142	1.621	1	0.203	-0.098	0.459
職種（事務を基準）							
専門的・技術的職業	0.012	0.066	0.033	1	0.856	-0.117	0.141
管理的職業	0.089	0.075	1.418	1	0.234	-0.057	0.235
販売	0.049	0.099	0.246	1	0.620	-0.145	0.244
サービス職業	0.173	0.127	1.855	1	0.173	-0.076	0.422
保安職業	-0.236	0.313	0.570	1	0.450	-0.849	0.377
運輸・通信	0.022	0.180	0.015	1	0.902	-0.330	0.375
生産工程・労務	0.058	0.111	0.273	1	0.602	-0.159	0.275
その他	-0.269	0.192	1.971	1	0.160	-0.644	0.107
役職（一般職を基準）							
係長・主任クラス	-0.017	0.064	0.069	1	0.792	-0.141	0.108
課長・次長クラス	0.104	0.086	1.468	1	0.226	-0.064	0.272
部長クラス	0.306	0.137	5.002	1	0.025**	0.038	0.574
役員	0.718	0.364	3.891	1	0.049**	0.005	1.432
その他	0.230	0.170	1.827	1	0.176	-0.103	0.562
年収見込額（300～500万円を基準）							
300万円未満	-0.289	0.069	17.665	1	0.000***	-0.424	-0.154
500～700万円	0.129	0.066	3.821	1	0.051*	0.000	0.258
700～1000万円	0.290	0.091	10.042	1	0.002***	0.111	0.469
1000万円以上	0.271	0.170	2.537	1	0.111	-0.062	0.604
週労働時間	-0.003	0.003	1.595	1	0.207	-0.008	0.002
有給休暇取得日数	-0.009	0.004	5.607	1	0.018**	-0.016	-0.002
拡大するのが望ましい賃金要素							
職務給的要素	-0.040	0.076	0.272	1	0.602	-0.190	0.110
職能給的要素	-0.019	0.072	0.070	1	0.791	-0.161	0.122
業績・成果給的要素	0.150	0.071	4.427	1	0.035**	0.010	0.290
年齢給的要素	-0.237	0.152	2.453	1	0.117	-0.535	0.060
勤続給的要素	-0.077	0.130	0.348	1	0.555	-0.333	0.179
被説明変数	3年前と比べた就業意欲の変化－高まっている＝4、どちらかといえば高まっている＝3、変わらない＝2、どちらかといえば低くなっている＝1、低くなっている＝0						
サンプル数	6324						
-2対数尤度	17,946.935						

表2 就業意欲を高める確率（説明変数：各種属性・希望する職業生活）

	係数	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
しきい値							
0	-2.305	0.102	507.213	1	0.000***	-2.506	-2.105
1	-1.194	0.100	143.788	1	0.000***	-1.389	-0.999
2	-0.102	0.099	1.071	1	0.301	-0.296	0.091
3	0.866	0.100	75.386	1	0.000***	0.671	1.062
性							
女性 = 1	-0.036	0.039	0.849	1	0.357	-0.113	0.041
年齢（20～29歳を基準）							
20歳未満	-0.436	0.309	1.987	1	0.159	-1.043	0.170
30～39歳	-0.178	0.044	16.051	1	0.000***	-0.265	-0.091
40～49歳	-0.372	0.053	49.627	1	0.000***	-0.475	-0.268
50～59歳	-0.540	0.060	80.852	1	0.000***	-0.658	-0.422
60歳以上	-0.676	0.113	35.838	1	0.000***	-0.897	-0.455
最終学歴（高校を基準）							
中学	0.090	0.121	0.556	1	0.456	-0.147	0.327
専修学校・各種学校	-0.074	0.049	2.311	1	0.128	-0.170	0.022
高専・短大	0.009	0.049	0.034	1	0.853	-0.088	0.106
大学・大学院	0.021	0.034	0.393	1	0.531	-0.045	0.087
配偶者の有無							
有配偶 = 1	0.065	0.034	3.597	1	0.058*	-0.002	0.133
主収入者かどうか							
主収入者 = 1	0.017	0.032	0.277	1	0.599	-0.045	0.079
勤続年数（1～5年を基準）							
1年未満	0.200	0.070	8.201	1	0.004***	0.063	0.337
5～10年	-0.073	0.041	3.141	1	0.076*	-0.154	0.008
10～15年	-0.127	0.048	6.983	1	0.008***	-0.221	-0.033
15～20年	-0.258	0.051	25.801	1	0.000***	-0.358	-0.159
20年以上	-0.241	0.051	22.268	1	0.000***	-0.341	-0.141
雇用形態							
正規従業員以外 = 1	0.156	0.083	3.534	1	0.060	-0.007	0.318
職種（事務を基準）							
専門的・技術的職業	0.011	0.039	0.085	1	0.770	-0.065	0.087
管理的職業	0.056	0.044	1.644	1	0.200	-0.030	0.141
販売	0.038	0.058	0.419	1	0.517	-0.076	0.151
サービス職業	0.134	0.074	3.244	1	0.072*	-0.012	0.279
保安職業	-0.135	0.183	0.547	1	0.460	-0.493	0.223
運輸・通信	0.044	0.105	0.173	1	0.678	-0.162	0.249
生産工程・労務	0.006	0.065	0.008	1	0.928	-0.121	0.132
その他	-0.191	0.112	2.910	1	0.088*	-0.410	0.028
役職（一般職を基準）							
係長・主任クラス	0.009	0.037	0.054	1	0.817	-0.064	0.081
課長・次長クラス	0.091	0.050	3.330	1	0.068*	-0.007	0.190
部長クラス	0.203	0.080	6.443	1	0.011**	0.046	0.359
役員	0.341	0.213	2.563	1	0.109	-0.076	0.758
その他	0.093	0.099	0.882	1	0.348	-0.101	0.287
年収見込額（300～500万円を基準）							
300万円未満	-0.099	0.040	6.125	1	0.013**	-0.178	-0.021
500～700万円	-0.008	0.039	0.038	1	0.846	-0.083	0.068
700～1000万円	0.082	0.053	2.357	1	0.125	-0.023	0.187
1000万円以上	0.055	0.099	0.305	1	0.581	-0.140	0.249
週労働時間	0.000	0.002	0.078	1	0.781	-0.003	0.003
有給休暇取得日数	-0.006	0.002	6.774	1	0.009***	-0.010	-0.001
希望する職業生活（今の職場でさまざまな業務を経験したい等を基準）							
今の職場で管理職として仕事をしたい	0.351	0.057	38.424	1	0.000***	0.240	0.461
今の職場で自分の経験、専門等を活かしたい	0.164	0.040	16.737	1	0.000***	0.085	0.242
転職・独立開業したい	-0.975	0.041	552.381	1	0.000***	-1.057	-0.894
その他の働き方・仕事をしたくない等	-0.578	0.037	250.574	1	0.000***	-0.650	-0.507
被説明変数	3年前と比べた就業意欲の変化－高まっている＝4、どちらかといえば高まっている＝3、変わらない＝2、どちらかといえば低くなっている＝1、低くなっている＝0						
サンプル数	6324						
-2対数尤度	17,014.451						

表3-1 就業意欲を高める確率

(男女計、説明変数：各種属性・今の職場で実現できている制度・施策)

	係数	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
しきい値							
0	-1.550	0.100	240.804	1	0.000***	-1.746	-1.354
1	-0.520	0.098	28.130	1	0.000***	-0.712	-0.328
2	0.513	0.098	27.421	1	0.000***	0.321	0.706
3	1.446	0.099	211.533	1	0.000***	1.252	1.641
性							
女性=1	-0.059	0.039	2.218	1	0.136	-0.135	0.018
年齢 (20~29歳を基準)							
20歳未満	-0.265	0.308	0.744	1	0.389	-0.869	0.338
30~39歳	-0.046	0.044	1.100	1	0.294	-0.133	0.040
40~49歳	-0.182	0.053	12.033	1	0.001***	-0.285	-0.079
50~59歳	-0.318	0.060	28.445	1	0.000***	-0.436	-0.201
60歳以上	-0.398	0.112	12.586	1	0.000***	-0.617	-0.178
最終学歴 (高校を基準)							
中学	0.074	0.121	0.374	1	0.541	-0.163	0.310
専修学校・各種学校	-0.106	0.049	4.751	1	0.029**	-0.202	-0.011
高専・短大	0.052	0.049	1.124	1	0.289	-0.044	0.149
大学・大学院	0.019	0.034	0.313	1	0.576	-0.047	0.085
配偶者の有無							
有配偶=1	0.125	0.034	13.278	1	0.000***	0.058	0.192
主収入者かどうか							
主収入者=1	0.023	0.031	0.542	1	0.462	-0.039	0.085
勤続年数 (1~5年を基準)							
1年未満	0.279	0.069	16.201	1	0.000***	0.143	0.415
5~10年	-0.041	0.041	0.983	1	0.321	-0.121	0.040
10~15年	-0.035	0.048	0.522	1	0.470	-0.128	0.059
15~20年	-0.127	0.051	6.340	1	0.012**	-0.227	-0.028
20年以上	-0.149	0.051	8.636	1	0.003***	-0.248	-0.050
雇用形態							
正規従業員以外=1	0.128	0.083	2.400	1	0.121	-0.034	0.290
職種 (事務を基準)							
専門的・技術的職業	-0.012	0.038	0.099	1	0.753	-0.088	0.063
管理的職業	0.032	0.043	0.541	1	0.462	-0.053	0.117
販売	0.010	0.058	0.027	1	0.869	-0.104	0.123
サービス職業	0.067	0.074	0.821	1	0.365	-0.078	0.212
保安職業	-0.217	0.182	1.418	1	0.234	-0.574	0.140
運輸・通信	0.050	0.104	0.230	1	0.632	-0.154	0.255
生産工程・労務	0.032	0.064	0.250	1	0.617	-0.094	0.158
その他	-0.162	0.111	2.128	1	0.145	-0.380	0.056
役職 (一般職を基準)							
係長・主任クラス	-0.016	0.037	0.191	1	0.662	-0.088	0.056
課長・次長クラス	0.039	0.050	0.599	1	0.439	-0.059	0.137
部長クラス	0.132	0.080	2.714	1	0.099*	-0.025	0.288
役員	0.370	0.213	3.005	1	0.083*	-0.048	0.788
その他	0.109	0.099	1.223	1	0.269	-0.084	0.302
年収見込額 (300~500万円を基準)							
300万円未満	-0.133	0.040	11.132	1	0.001***	-0.211	-0.055
500~700万円	0.042	0.038	1.184	1	0.277	-0.033	0.117
700~1000万円	0.120	0.053	5.088	1	0.024**	0.016	0.225
1000万円以上	0.056	0.099	0.315	1	0.575	-0.139	0.250
週労働時間	-0.001	0.002	0.302	1	0.583	-0.004	0.002
有給休暇取得日数	-0.007	0.002	9.130	1	0.003***	-0.011	-0.002
今の職場で実現できている制度・施策							
個人の希望を重視して配置すること	0.141	0.042	11.247	1	0.001***	0.059	0.223
自己申告や社内FA制度を活用すること	0.113	0.051	4.984	1	0.026**	0.014	0.213
仕事の成果をより重視して処遇すること	0.222	0.046	22.967	1	0.000***	0.131	0.313
仕事上の裁量をより高めること	0.197	0.062	10.272	1	0.001***	0.077	0.318
出産・育児で退職した女性を再雇用すること	-0.017	0.043	0.157	1	0.692	-0.102	0.068
非正社員から正社員に登用すること	0.087	0.033	7.095	1	0.008***	0.023	0.151
福利厚生を充実すること	0.107	0.043	6.196	1	0.013**	0.023	0.192
賃金を引き上げること	0.223	0.063	12.645	1	0.000***	0.100	0.347
残業時間を削減すること	0.014	0.040	0.120	1	0.729	-0.064	0.091
有給休暇の取得を促進すること	0.024	0.040	0.372	1	0.542	-0.054	0.103
仕事と家庭生活の調和を図る施策を充実すること	0.059	0.075	0.616	1	0.433	-0.088	0.206
仕事上、上司からフォローが得られること	0.281	0.037	57.901	1	0.000***	0.209	0.354
キャリアカウンセリングを充実すること	-0.131	0.095	1.885	1	0.170	-0.318	0.056
計画的な能力開発を実施すること	0.162	0.051	10.219	1	0.001***	0.063	0.261
作業環境を改善すること	0.212	0.043	24.359	1	0.000***	0.128	0.296

被説明変数	3年前と比べた就業意欲の変化-高まっている=4、どちらかといえば高まっている=3、変わらない=2、どちらかといえば低くなっている=1、低くなっている=0
サンプル数	6324
-2対数尤度	17,671.690

付注

表3-2 就業意欲を高める確率

(男性、説明変数：各種属性・今の職場で実現できている制度・施策)

	係数	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
しきい値							
0	-1.669	0.117	202.903	1	0.000***	-1.899	-1.439
1	-0.643	0.115	31.469	1	0.000***	-0.868	-0.418
2	0.409	0.114	12.744	1	0.000***	0.184	0.633
3	1.316	0.116	128.831	1	0.000***	1.089	1.543
年齢 (20~29歳を基準)							
20歳未満	-0.398	0.746	0.285	1	0.594	-1.859	1.064
30~39歳	-0.132	0.059	4.892	1	0.027**	-0.248	-0.015
40~49歳	-0.331	0.069	23.048	1	0.000***	-0.467	-0.196
50~59歳	-0.476	0.077	38.380	1	0.000***	-0.627	-0.326
60歳以上	-0.511	0.128	15.903	1	0.000***	-0.762	-0.260
最終学歴 (高校を基準)							
中学	0.055	0.131	0.181	1	0.671	-0.200	0.311
専修学校・各種学校	-0.127	0.058	4.744	1	0.029**	-0.241	-0.013
高専・短大	0.016	0.082	0.038	1	0.846	-0.145	0.177
大学・大学院	0.036	0.040	0.831	1	0.362	-0.041	0.114
配偶者の有無							
有配偶=1	0.153	0.042	13.495	1	0.000***	0.071	0.234
主収入者かどうか							
主収入者=1	0.032	0.038	0.692	1	0.405	-0.043	0.106
勤続年数 (1~5年を基準)							
1年未満	0.397	0.090	19.249	1	0.000***	0.220	0.574
5~10年	-0.060	0.052	1.315	1	0.251	-0.163	0.043
10~15年	-0.080	0.058	1.891	1	0.169	-0.195	0.034
15~20年	-0.125	0.062	4.075	1	0.044**	-0.246	-0.004
20年以上	-0.164	0.059	7.747	1	0.005***	-0.279	-0.048
雇用形態							
正規従業員以外=1	0.034	0.125	0.072	1	0.788	-0.212	0.279
職種 (事務を基準)							
専門的・技術的職業	0.005	0.046	0.014	1	0.907	-0.085	0.096
管理的職業	0.053	0.048	1.227	1	0.268	-0.041	0.147
販売	0.047	0.065	0.531	1	0.466	-0.080	0.175
サービス職業	0.111	0.091	1.487	1	0.223	-0.067	0.289
保安職業	-0.186	0.188	0.987	1	0.321	-0.554	0.181
運輸・通信	0.093	0.111	0.708	1	0.400	-0.124	0.311
生産工程・労務	0.016	0.078	0.044	1	0.835	-0.136	0.168
その他	-0.125	0.134	0.870	1	0.351	-0.387	0.138
役職 (一般職を基準)							
係長・主任クラス	-0.040	0.044	0.818	1	0.366	-0.127	0.047
課長・次長クラス	0.033	0.056	0.357	1	0.550	-0.076	0.142
部長クラス	0.140	0.085	2.689	1	0.101	-0.027	0.306
役員	0.432	0.224	3.710	1	0.054*	-0.008	0.872
その他	0.154	0.114	1.816	1	0.178	-0.070	0.377
年収見込額 (300~500万円を基準)							
300万円未満	-0.216	0.060	12.959	1	0.000***	-0.334	-0.099
500~700万円	0.039	0.043	0.850	1	0.356	-0.044	0.123
700~1000万円	0.141	0.058	5.953	1	0.015**	0.028	0.255
1000万円以上	0.092	0.105	0.766	1	0.382	-0.113	0.297
週労働時間	-0.001	0.002	0.527	1	0.468	-0.004	0.002
有給休暇取得日数	-0.008	0.003	9.204	1	0.002***	-0.014	-0.003
今の職場で実現できている制度・施策							
個人の希望を重視して配置すること	0.164	0.051	10.477	1	0.001***	0.065	0.264
自己申告や社内FA制度を活用すること	0.070	0.061	1.348	1	0.246	-0.048	0.189
仕事の成果をより重視して処遇すること	0.208	0.053	15.354	1	0.000***	0.104	0.313
仕事上の裁量をより高めること	0.164	0.068	5.914	1	0.015**	0.032	0.297
出産・育児で退職した女性を再雇用すること	0.008	0.056	0.021	1	0.885	-0.102	0.118
非正社員から正社員に登用すること	0.096	0.041	5.510	1	0.019**	0.016	0.176
福利厚生を充実すること	0.136	0.054	6.426	1	0.011**	0.031	0.242
賃金を引き上げること	0.281	0.074	14.402	1	0.000***	0.136	0.426
残業時間を削減すること	0.036	0.048	0.552	1	0.457	-0.059	0.131
有給休暇の取得を促進すること	0.031	0.050	0.400	1	0.527	-0.066	0.129
仕事と家庭生活の調和を図る施策を充実すること	-0.078	0.091	0.735	1	0.391	-0.256	0.100
仕事上、上司からフォローが得られること	0.240	0.044	29.241	1	0.000***	0.153	0.326
キャリアカウンセリングを充実すること	-0.236	0.115	4.208	1	0.040**	-0.462	-0.011
計画的な能力開発を実施すること	0.167	0.058	8.334	1	0.004***	0.054	0.281
作業環境を改善すること	0.195	0.050	15.322	1	0.000***	0.098	0.293
説明変数	3年前と比べた就業意欲の変化-高まっている=4、どちらかといえば高まっている=3、変わらない=2、どちらかといえば低くなっている=1、低くなっている=0						
サンプル数	4341						
-2対数尤度	12,101.922						

表3-3 就業意欲を高める確率

(女性、説明変数：各種属性・今の職場で実現できている制度・施策)

	係数	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	95% 信頼区間	
						下限	上限
しきい値							
0	-1.372	0.195	49.655	1	0.000***	-1.754	-0.991
1	-0.320	0.192	2.774	1	0.096*	-0.697	0.057
2	0.691	0.193	12.850	1	0.000***	0.313	1.068
3	1.721	0.196	76.999	1	0.000***	1.336	2.105
年齢 (20~29歳を基準)							
20歳未満	-0.069	0.346	0.040	1	0.842	-0.747	0.609
30~39歳	0.009	0.069	0.016	1	0.899	-0.126	0.144
40~49歳	-0.049	0.087	0.321	1	0.571	-0.220	0.121
50~59歳	-0.176	0.105	2.794	1	0.095*	-0.382	0.030
60歳以上	-0.246	0.323	0.577	1	0.448	-0.880	0.388
最終学歴 (高校を基準)							
中学	0.336	0.328	1.053	1	0.305	-0.306	0.979
専修学校・各種学校	-0.070	0.091	0.589	1	0.443	-0.249	0.109
高専・短大	0.063	0.066	0.887	1	0.346	-0.068	0.193
大学・大学院	-0.037	0.068	0.302	1	0.583	-0.170	0.095
配偶者の有無							
有配偶=1	0.055	0.068	0.668	1	0.414	-0.077	0.188
主収入者かどうか							
主収入者=1	0.000	0.062	0.000	1	0.996	-0.121	0.122
勤続年数 (1~5年を基準)							
1年未満	0.126	0.111	1.284	1	0.257	-0.092	0.345
5~10年	-0.017	0.068	0.066	1	0.797	-0.150	0.115
10~15年	0.050	0.087	0.334	1	0.563	-0.120	0.220
15~20年	-0.145	0.092	2.477	1	0.116	-0.325	0.036
20年以上	-0.082	0.106	0.602	1	0.438	-0.290	0.126
雇用形態							
正規従業員以外=1	0.227	0.113	4.016	1	0.045	0.005	0.448
職種 (事務を基準)							
専門的・技術的職業	-0.022	0.079	0.080	1	0.778	-0.177	0.132
管理的職業	0.004	0.133	0.001	1	0.979	-0.258	0.265
販売	-0.191	0.140	1.867	1	0.172	-0.465	0.083
サービス職業	-0.027	0.131	0.042	1	0.838	-0.284	0.230
保安職業	0.788	1.090	0.523	1	0.470	-1.348	2.924
運輸・通信	-0.202	0.377	0.286	1	0.593	-0.940	0.537
生産工程・労務	0.077	0.121	0.398	1	0.528	-0.161	0.314
その他	-0.229	0.204	1.267	1	0.260	-0.629	0.170
役職 (一般職を基準)							
係長・主任クラス	0.098	0.070	1.923	1	0.166	-0.040	0.235
課長・次長クラス	0.229	0.152	2.279	1	0.131	-0.068	0.526
部長クラス	0.032	0.338	0.009	1	0.925	-0.631	0.695
役員	-0.298	0.772	0.149	1	0.699	-1.811	1.214
その他	-0.028	0.205	0.019	1	0.890	-0.430	0.373
年収見込額 (300~500万円を基準)							
300万円未満	-0.024	0.057	0.183	1	0.669	-0.135	0.087
500~700万円	0.146	0.093	2.495	1	0.114	-0.035	0.328
700~1000万円	0.131	0.164	0.637	1	0.425	-0.190	0.452
1000万円以上	-0.199	0.390	0.260	1	0.610	-0.964	0.566
週労働時間	-0.001	0.004	0.053	1	0.819	-0.008	0.006
有給休暇取得日数	-0.004	0.004	1.119	1	0.290	-0.012	0.004
今の職場で実現できている制度・施策							
個人の希望を重視して配置すること	0.076	0.077	0.983	1	0.322	-0.074	0.226
自己申告や社内FA制度を活用すること	0.217	0.094	5.296	1	0.021**	0.032	0.402
仕事の成果をより重視して処遇すること	0.244	0.098	6.212	1	0.013**	0.052	0.436
仕事上の裁量をより高めること	0.363	0.155	5.466	1	0.019**	0.059	0.667
出産・育児で退職した女性を再雇用すること	-0.073	0.069	1.120	1	0.290	-0.208	0.062
非正社員から正社員に登用すること	0.072	0.056	1.691	1	0.194	-0.037	0.182
福利厚生を充実すること	0.059	0.073	0.649	1	0.421	-0.085	0.203
賃金を引き上げること	0.118	0.122	0.932	1	0.334	-0.121	0.356
残業時間を削減すること	-0.029	0.070	0.173	1	0.677	-0.167	0.109
有給休暇の取得を促進すること	-0.010	0.069	0.021	1	0.884	-0.145	0.125
仕事と家庭生活の調和を図る施策を充実すること	0.350	0.135	6.714	1	0.010***	0.085	0.615
仕事上、上司からフォローが得られること	0.387	0.068	32.233	1	0.000***	0.254	0.521
キャリアアカウンティングを充実すること	0.162	0.174	0.873	1	0.350	-0.178	0.503
計画的な能力開発を実施すること	0.173	0.106	2.687	1	0.101	-0.034	0.381
作業環境を改善すること	0.293	0.086	11.652	1	0.001***	0.125	0.461

被説明変数	3年前と比べた就業意欲の変化-高まっている=4、どちらかといえば高まっている=3、変わらない=2、どちらかといえば低くなっている=1、低くなっている=0
サンプル数	1983
-2対数尤度	5,491.213

付注